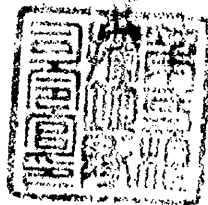


軍極秘

一振機密第一二〇號ノ九ノ一



自昭和十八年十二月一日
至昭和十八年十二月三十一日

第一根據地隊(旧第二十防空隊)

戰時日記誌

役務	所管所屬
第一根據地隊附 旧第二十防空隊	吳鎮(第八艦隊)



1228

目次

- 一 作戰經過概要
- 附表 第一 第二 第三
- 二 人員ノ現状
- 三 令達報告等
- 四 參考
- 一 戰訓
- 二 寫真
- 五 船体兵器機關等

(目次終)

作戦経過概要

自昭和十八年十二月一日
至昭和十八年十二月三十一日
第二十防空隊戦時口誌

日	所在	天候	風向	風力	温度	湿度	視程	雲
一	ブイン	北	雨	二	四	七	二	
二		北	雨	二	四	五	二	
三		北	曇	三	一	一	五	
併								一
茅								務
宏								任
機								務
茅二警戒配備 八五〇一八五六警戒警報 〇九二〇一〇九五 〇九四〇一〇一五 空 警 一〇一〇一〇一五 陣地構築並ニ整備作業 〇九四〇一〇〇〇 空 警 一〇五〇一〇五二 陣地構築並ニ兵器整備 一五〇〇一〇一六 空 警 敵 襲 斗機四機来襲セルニ味方陣 地砲撃ヨリ南方ニ逃走セリ 隊 備 作 業 七〇六一・七〇九 空 警 敵 襲								記
水兵長長及勉遣 骨待同隊小隊等 各々ヨリ隊隊								事

八	六	六	五	四
二北 西南	二北 西南	二北 西南	二北 東南	一三 東南
三六五	三六三	四七三	四七三	五三四
機				合
機				一
防 面 方				X R
一三三五〇 南東 整備作業	整備作業	第三警戒配備 兵器手入、兵器点検 一機作業一〇名	〇四三七、〇四四〇。空警警戒 十機六機東北方位味方陣地 方位二銃車二機、北西方位二 機運用。二機作業一〇名 兵器整備並幕舎整備	機六機上空通過南方 整備作業
		〇六二〇、〇六三七 敵機五機下 〇六三二、〇六三三 空 警戒 〇八四〇、〇八四一 空 警戒 小隊長以下四名 應之陸隊隊編成	機隊整備中三機 機隊復旧 十機機隊運用 砲射撃三機 機隊 五名	

1231

一 二	一 二	一 〇	九
一三東半	一三東晴	二北西雨	二北西
二二三晴	五三二	四六二	三八二
隊			
壕			
命 隊 部 備			
〇九一〇一〇九一五 一〇一六一一〇三八 一三一〇一一二三〇 二〇三五一一二〇三六 二〇五二一一二〇九 整備作業並陣地附近整理 振作業	〇八五〇一〇九一五 空 警 一二五〇一〇三二〇 対空戦闘 艦隊七二隊ブイシ山上空多 急降下爆撃之直上を往砲 火の心也又之東又 整備 振作 業	〇七三〇一〇七三五 空 警 爆西撤東南方より來襲北 西三去ル 〇九四〇一〇九五六 空 警 整備 振作 業	整備作業並精神教育 振作業 忠 壕
行衛子明中二三名 死体収容並葬人	六番機銃陣地直 要陣に妻一人至連隊 戦死三名重傷三名 行衛子明三名 二機要隊四不也 發射弾數五六名 戦死者死体埋葬		

1232

一 六	一 六	一 五	一 四	一 三
一三東半	一三東半	一三東 晴	一三東半	一三東 晴
〇二二晴	〇三二晴	二三三	〇二二晴	二二二
八				第
地				
一七 芽 作 令				
一 整 振 備 作 業	〇九三六一〇九五主 ロキード一機偵察 一〇〇八一〇一五空 ハラレー方百爆真 一 整 振 備 作 業	〇八四五〇九〇〇 一 整 振 備 作 業	第 三 警 戒 配 備 〇七四〇一〇七五〇空 〇八五〇八一〇警戒警報 一 整 振 備 作 業	第 三 警 戒 配 備 〇八五五〇九四五空 一 整 振 備 作 業
			高橋一水 戦病死 (芽一 糧 症)	

1233

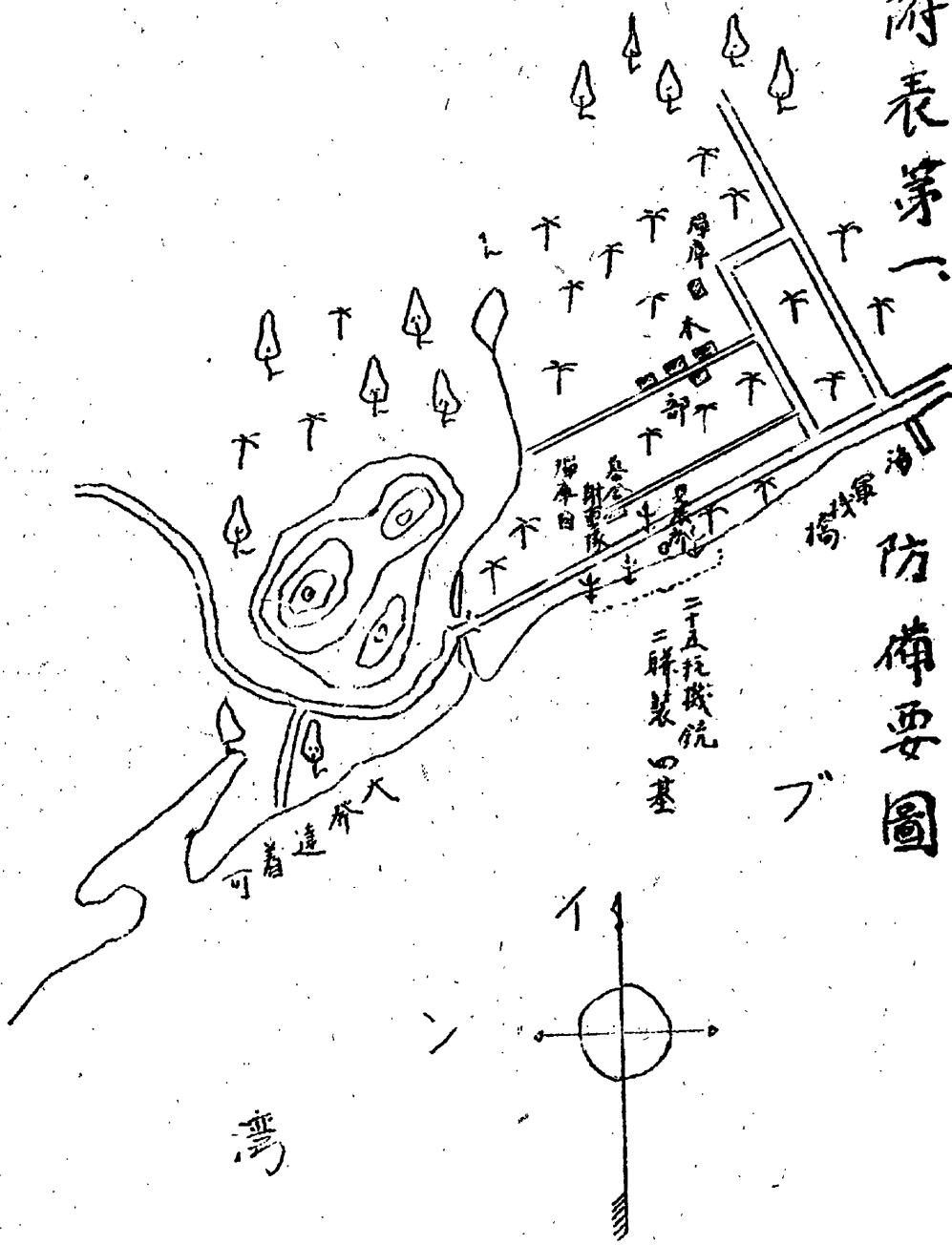
二 一	二 〇	一 九
二北 曇	二北 西雨	二北 西曇
六七二	四六三	五七三
山		
司		隊
り	依	二 號
一九二〇一 二〇四〇一 二二五〇一 二三五〇一	一九三〇一 二〇一〇一 二二五〇一 二三五〇一	一九四〇一 二〇一〇一 二二五〇一 二三五〇一
發 備 作 業	振 作 業 塔 援 戍	振 作 業 塔 援 戍

	二七	二六	二五	
半 南東	三南 曇	一三東 半 晴	三北 西 曇	七
三	九二三	〇二二	六二二	
屬		附		
部				
島				
〇六〇〇一〇六五 〇六五五一一〇五八 〇六五五一一〇五八 〇七〇五一一〇五八 〇九一五一一〇九二〇	陣地移動作業及 整備作業	陣地移動並ニ 整備作業 一振作業應援	〇八三〇一〇九〇〇 二〇二〇一〇三〇四 二〇四七一一二〇二二	〇七二〇一〇七四〇 〇七二五一一〇八〇〇 〇九一三一一〇九一七 一〇三三一一〇四〇〇 一一一五一一〇三三〇 一一一五一一〇三三〇
空 警	空 警	空 警	空 警	空 警
右ハ心流遺隊員 菊地一曹以下各名 遺骨持回不隊 三復帰				

1236

三 八	三 〇	二 九	二 八
二 南 西 一 五 六	三 北 西 三 六 九	三 北 三 一 二	一 三 〇 二
隊			
附			
空 防 ル 也			
越 軍 準 備	兵器 幕舎 器 附 送 整 備	整備 器 手 作 業	陣地 防 動 作 業 並 防 備 作 業
〇五五五 〇六二五 〇八〇六 〇八三六 〇九三〇 以上一〇 等陣地三環	〇六四五 〇七〇〇 〇七一〇 〇九一〇 一一三八 一二三〇 一三三〇 一四三〇 一五三〇 一六三〇 一七三〇 一八三〇 一九三〇 二〇三〇 二一三〇 二二三〇 二四三〇 二五三〇 二六三〇 二七三〇 二八三〇 二九三〇 三〇三〇 三一三〇 三二三〇 三三三〇 三四三〇 三五三〇 三六三〇 三七三〇 三八三〇 三九三〇 四〇三〇 四一三〇 四二三〇 四四三〇 四五三〇 四六三〇 四七三〇 四八三〇 四九三〇 五〇三〇 五一三〇 五二三〇 五四三〇 五五三〇 五六三〇 五七三〇 五八三〇 五九三〇 六〇三〇 六一三〇 六二三〇 六四三〇 六五三〇 六六三〇 六七三〇 六八三〇 六九三〇 七〇三〇 七一三〇 七二三〇 七四三〇 七五三〇 七六三〇 七七三〇 七八三〇 七九三〇 八〇三〇 八二三〇 八四三〇 八五三〇 八六三〇 八七三〇 八八三〇 八九三〇 九〇三〇 九一三〇 九二三〇 九四三〇 九五三〇 九六三〇 九七三〇 九八三〇 九九三〇 一〇〇三〇	〇八三〇 〇九三〇 一〇三〇 一一三〇 一二三〇 一三三〇 一四三〇 一五三〇 一六三〇 一七三〇 一八三〇 一九三〇 二〇三〇 二一三〇 二二三〇 二四三〇 二五三〇 二六三〇 二七三〇 二八三〇 二九三〇 三〇三〇 三一三〇 三二三〇 三四三〇 三五三〇 三六三〇 三七三〇 三八三〇 三九三〇 四〇三〇 四一三〇 四二三〇 四四三〇 四五三〇 四六三〇 四七三〇 四八三〇 四九三〇 五〇三〇 五一三〇 五二三〇 五四三〇 五五三〇 五六三〇 五七三〇 五八三〇 五九三〇 六〇三〇 六一三〇 六二三〇 六四三〇 六五三〇 六六三〇 六七三〇 六八三〇 六九三〇 七〇三〇 七一三〇 七二三〇 七四三〇 七五三〇 七六三〇 七七三〇 七八三〇 七九三〇 八〇三〇 八二三〇 八四三〇 八五三〇 八六三〇 八七三〇 八八三〇 八九三〇 九〇三〇 九一三〇 九二三〇 九四三〇 九五三〇 九六三〇 九七三〇 九八三〇 九九三〇 一〇〇三〇	〇八三〇 〇九三〇 一〇三〇 一一三〇 一二三〇 一三三〇 一四三〇 一五三〇 一六三〇 一七三〇 一八三〇 一九三〇 二〇三〇 二一三〇 二二三〇 二四三〇 二五三〇 二六三〇 二七三〇 二八三〇 二九三〇 三〇三〇 三一三〇 三二三〇 三四三〇 三五三〇 三六三〇 三七三〇 三八三〇 三九三〇 四〇三〇 四一三〇 四二三〇 四四三〇 四五三〇 四六三〇 四七三〇 四八三〇 四九三〇 五〇三〇 五一三〇 五二三〇 五四三〇 五五三〇 五六三〇 五七三〇 五八三〇 五九三〇 六〇三〇 六一三〇 六二三〇 六四三〇 六五三〇 六六三〇 六七三〇 六八三〇 六九三〇 七〇三〇 七一三〇 七二三〇 七四三〇 七五三〇 七六三〇 七七三〇 七八三〇 七九三〇 八〇三〇 八二三〇 八四三〇 八五三〇 八六三〇 八七三〇 八八三〇 八九三〇 九〇三〇 九一三〇 九二三〇 九四三〇 九五三〇 九六三〇 九七三〇 九八三〇 九九三〇 一〇〇三〇
味方地上砲火三隊 四隊一隊 五隊一隊 六隊一隊 七隊一隊 八隊一隊 九隊一隊 十隊一隊 十一隊一隊 十二隊一隊 十三隊一隊 十四隊一隊 十五隊一隊 十六隊一隊 十七隊一隊 十八隊一隊 十九隊一隊 二十隊一隊 二十一隊一隊 二十二隊一隊 二十三隊一隊 二十四隊一隊 二十五隊一隊 二十六隊一隊 二十七隊一隊 二十八隊一隊 二十九隊一隊 三十隊一隊 三十一隊一隊 三十二隊一隊 三十三隊一隊 三十四隊一隊 三十五隊一隊 三十六隊一隊 三十七隊一隊 三十八隊一隊 三十九隊一隊 四十隊一隊 四十一隊一隊 四十二隊一隊 四十三隊一隊 四十四隊一隊 四十五隊一隊 四十六隊一隊 四十七隊一隊 四十八隊一隊 四十九隊一隊 五十隊一隊 五十一隊一隊 五十二隊一隊 五十三隊一隊 五十四隊一隊 五十五隊一隊 五十六隊一隊 五十七隊一隊 五十八隊一隊 五十九隊一隊 六十隊一隊 六十一隊一隊 六十二隊一隊 六十三隊一隊 六十四隊一隊 六十五隊一隊 六十六隊一隊 六十七隊一隊 六十八隊一隊 六十九隊一隊 七十隊一隊 七十一隊一隊 七十二隊一隊 七十三隊一隊 七十四隊一隊 七十五隊一隊 七十六隊一隊 七十七隊一隊 七十八隊一隊 七十九隊一隊 八十隊一隊 八十一隊一隊 八十二隊一隊 八十三隊一隊 八十四隊一隊 八十五隊一隊 八十六隊一隊 八十七隊一隊 八十八隊一隊 八十九隊一隊 九十隊一隊 九十一隊一隊 九十二隊一隊 九十三隊一隊 九十四隊一隊 九十五隊一隊 九十六隊一隊 九十七隊一隊 九十八隊一隊 九十九隊一隊 一百隊一隊			

附表第一
防備要圖



1238

附表第二
一、防備部隊、配備並ニ裝備

本 隊				備 配		隊 部 隊	所 在	人 員	主 要 兵 器 材	教 員	記 事
第一小隊	見張小隊	指揮小隊	隊 附	准士官	下士官兵其他						
一		一									
三四	一三	七	一一								
九九式小銃	九六式二十五年機銃	九式輕機銃 十三種高角双眼望遠鏡	陸式拳銃 九式輕機銃 九式小銃	小型乗用車	トランプ車	機銃	九九式小銃				
三	二	一	一	一	三	二	一				

1239

人員 總計	註 入 院	島ルセイヨチ 隊遣來ルセイヨチ							「R X P」			
		計	附屬隊	第三小隊	第二小隊	第一小隊	見張小隊	指揮小隊	隊附	計	附屬隊	第三小隊
五		三		一	一			一	二			
二一	七	八	五	二	一	一	一	一	二	一	一	二
		三		六	一	三	四	一	一	五	四	七
		九九式小銃	重 一四式拳銃	陸 九式輕機銃	九 九式輕機銃	九 九式輕機銃	九 九式輕機銃	九 六六三式輕機銃	九九式小銃	九九式小銃	九九式小銃	重 九九式小銃
		三	三	一	七	三	九	八	三	五	四	二

1240

附表第三
一作戰經過概要

自昭和十八年十一月一日第三防空隊有イセル派遣隊

三	二	一 有イセル	日 所 在
二南 西 七六四	一三南 六〇三 晴	一三東 八一二 晴	正 界 干 八 向 風 力 候 東
			一 任 務 特 別
陣地強化並道路凝装	陣地強化 四〇〇基地上空偵察機北方 一三五〇ロッキード機高度 日没ト共三引揚ゲ	一、小隊(輕機銃一、含ハニ 駐止乍候トシテ 寢舎東方 二〇〇米ノ位置ニ派遣 干後整備作業	第一哨戒配備 午前配置教育 午後整備作業
			記 事

九	八	七	六	五	四
・	・	・	・	・	・
一三南晴 六一三	一三南晴 七九一	二南曇 八一	二南西雨 八五三	一三南西曇 二七一	一三北東晴 四九二
五。四。P39一機八。北西ヨリ 上空旋回偵察シテ迫走 整備作業 防空壕陣 地強	整備作業 防空壕陣 地強	整備作業 防空壕陣 地強	幕舎整備作業 二。三。敵水偵一機高度 五。米基地附近偵察 南三去ル	午後 兵器手入 午後 配置教育	第一哨戒配 輕機銃陣地構築業 整備作業 駐止斥候本日ヨリ東方 二。三。米ヲ撤ニ東方五。 米ノ地莫ニ駐止セシム

十四	十三	十二	十一	十
二南東曇	一三南東曇	一三南東晴	一三南東晴	一三南東晴
二七二	二八三	三〇三	五〇四	七八一
午後 幕舎整備(移動)	午前 兵器整備作業 午後 整備作業	午前 兵器整備作業 午後 整備作業	午前 配置教育 午後 配置教育	第一 哨戒配備 〇七三五一〇七五 空警 戦斗機七機 西方向 未襲見張所 附近 之ニ文 戦要退セシム 兵器 手入 兵器 交換 二銃機銃 射撃 教 二二四 奉 人夏兵器異成

1243

二十	十九	十八	十七	十六	十五
一三南 晴	一三南 曇	一三南 東晴	一三南 東晴	一三南 東晴	一三南 東晴
六一二	〇七三	三〇三	五一一	五一一	六〇三
整備作業 陸軍陣地附近ニ首射シ 南東ニ去ル	整備作業 陣地構築	整備作業 陣地構築	十三銃機銃ニ基陣地転換	整備作業	等一晴成配備 〇八五 二〇米南方ヨリ東ニ 地東方附近ニ首射 北方ニ道走セリ 十三銃機銃ニ基陣地転換

1244

二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一
一三南東晴	一三南東晴	一二南雨	一二南曇	一三南東晴	一二南東雨	一三南晴
七二五	六一三	〇四二	五九二	六〇三	〇二三	四〇三
輕機陣地構築作業	輕機陣地構築作業	兵器手入・兵器整備	輕機陣地構築	輕機陣地構築 一四三五機北方ヨリ城空 三三末襲基地討進通過 南方二道走ス	午前配置教育 午後	戦備作業

1245

三十	二十九	二十八
一三南東晴 六二三	一三南東晴 六一五	一ニ東曇 八七三
整備作業	障地強業化	茅(哨戒配備)
海軍水兵長 長尾勉 埋葬	為時ヨリ兵六 指標下ニ入ル 海軍水兵長 長尾勉 戦病死	一三五。ロッキードハドソン 一機高度三。北西ヨリ飛襲 基地附近首射ンツ、南東 ニ進走セリ

二、人員ノ現状

(一) 現員官氏名

本部隊長	區分職	主務	官	氏名	記事
			中尉	森 靜人	

(二) 配備並裝備

本 隊			配 備	
三小隊	射擊隊	警戒隊	本部	部隊 (所在)
二			一	人
				准士官以上
五			六	員
三				下士官、兵
陸九式拳銃	九式輕機銃	九式重機銃	九式輕機銃	主要兵器之材
九式小銃	九式小銃	九式小銃	九式小銃	
九式小銃	九式小銃	九式小銃	九式小銃	
九式小銃	九式小銃	九式小銃	九式小銃	
九式小銃	九式小銃	九式小銃	九式小銃	
二	八	四	六	数
				記事

1247

三令達報告等

<p>發 元 日 時</p>	<p>八一八一ニ 一〇三〇</p>
<p>受 元 日 時</p>	<p>八一八一ニ 一〇三〇</p>
<p>令 達 報 告 等</p>	<p>安支作令第三十一號(各部支隊作戰命令) 一 兵力未詳、敵ハ八洲岬南方附近ニ出現シ前進陣地占領部隊ト交戦中ナリ、モリ島附近偵察ノ昨ノ歸着予定、兎島將校在候狀況不明ナリ、又本朝灣口附近ニ前進セシ竹本隊長以下三分隊ハ前進部隊監視所ヲ通過シ敵一部ハ其ノ後方ニ進入セルモノ、如シ 二 支隊ハ一部兵力ヲ以テ前進陣地占領部隊ヲ増援シ當面ノ敵ヲ攻取中隊長ヲ收容セシトス 三省略 四 江藤小隊及森防空隊ハ夫々一々分隊(輕機一ヨ合ニテ)宿舎東方約二軒附近ニ横廣ノ隊形ニ配置シ駐止在候トナルベシ尚引揚ノ時機ハ日没トス 五 各隊ハ狀況ニ鑑ミ警戒ヲ愈々嚴スルト共ニ戰鬥配備ニ就キ何時ニテモ戰鬥ニ得心加リ待機ス</p>
<p>種 別</p>	<p>口 達 筆 記</p>

<p>一八一二一四 一三〇〇</p>	<p>安部支隊長</p>	<p>一八一二一四 一三〇〇</p>	<p>安部支隊長 防備部隊</p>	<p>安部支隊長等三十三號 一支隊八一部兵力ヲ以テ市川情報班ニ連絡セシム</p>	<p>安部支隊長等三十三號 一、本島ニ於ケル戦斗ハ概テ順調ニ進攻レアルモノ、 如シ、チヨイセル島ニ於テハ二日鬼島小隊ノ奮斗 ニ依リ大發シテ有スル水陸兩面約五〇乃至六〇ノ 敵ヲ南方ニ潰走セシメタル以後及覆進攻ノ状況 ヲ認め、同日以後水陸空共ニ概テ閑散ノ觀 アルニ敵ハ必ズ新全圖ノ準備中ナルモノト想像 セラル、又一部ノ敵ハチヨイセル灣東方山地带ニ 侵入シアルモノト判断セラル、軍ハ愈々チヨイセル島 確保ニ決レ更ニ大發ニ隻折置舟六隻海戦隊 小坂曹長以下十九名ヲ支隊ニ増加配屬セラル ニ支隊ハ兵力ノ一部ヲ變更シ一層警戒ヲ嚴チラ シハルト共ニ敵軍減ニ準備遺憾ナカラシムトス 三四五六七八九 省 略 一、海軍森林防空隊並ニ江藤歩兵小隊ハ各々其ノ 隊東方ニ乃至四〇〇米ノ要兵ニ約一合隊ノ兵候 ヲ駐止セシメ主トシテ後方ニ対シ警戒スベシ 二、一三 省 略</p>
<p>口 達 筆 記</p>					

<p>安部支隊長 茅三 防空隊</p>	<p>二 森中尉ハ輕機銃(彈藥共)ヲ大隊本部ヨリ口達筆記 出スル作候ニ具與スベシ</p>	<p>支隊命令 一 余ハ明日未明折疊舟ニ出發天島守備隊ノ 教育及ビ陣地視察ニ爲天島ニ進出セシトス 二 川島主計中尉ハ天島守備隊ノ集積糧秣ノ整備 ヲ兼テ余ニ同行スベシ 三 余ノ不在間非常ニ際シテハ山崎中尉ハ支隊長 ヲ代理スベシ 直轄部隊ハ森中尉代理スベシ 四 余ハ未明出發候ニ日没ト同時ニ歸還ノ予定 工兵小隊長ハ明朝。三三。新残橋出奔余ヲ輸送 ニ任ズベシ 五 省略</p>
<p>安部支隊長 一八一二一四 一五〇〇</p>	<p>防備部隊 一八一二一四 一五〇〇</p>	<p>安支作令 茅三十六號 一 二三日来、敵機ノ行動昼夜共稍々活發トナレリ 二 余ハ本十一日夜桑島ニ前進シ該島ノ状況地形ヲ 偵察セシトス 三 四五省略 六 余ハ二時間偵察シ二三。歸還ノ予定今不在 間森中尉ハ直轄部隊ノ指揮ニ任ズベシ</p>
<p>安部支隊長 一八一二一四 一五〇〇</p>	<p>防備部隊 一八一二一四 一五〇〇</p>	<p>口達 筆記</p>

<p>守部支隊長 一三〇〇</p>	<p>守部支隊長 防備部隊 チヨイセル等</p>	<p>守支作令第三十九號 二余ハ明後十日眞劍山東方濕地帯並ニ土民部活 及支那人部活附近ヲ踏査偵察セントス ニ海軍森中尉ハ余不在間作戰ニ関シ直轄 部隊ヲ指揮スベシ</p>	<p>筆口 記達</p>
<p>守部支隊長 一三〇〇</p>	<p>守部支隊長 防備部隊 チヨイセル等</p>	<p>守支作令第三十八號 一兵カ不詳ノ敵ハ大正島正西ニ現出セルモノ、如ク大 正島ニ付テ猛射シツアリ ニ各隊ハ何時テモ戦斗レ得ル如ク陣地附近ニ待 機ニ警戒監視ヲ嚴チラシムベシ</p>	<p>筆口 記達</p>
<p>守部支隊長 一三〇〇</p>	<p>守部支隊長 防備部隊 チヨイセル等</p>	<p>守支作令第三十七號 二余ハ明後十日生帯以勝川ヲ溯航シテ西山交勝 川口東方約十村附近市川情報班ト連絡 上附近ヲ踏査後及転八洲岬南端ニ進出シ海軍 部隊ト連絡セントス ニ三四五省略 六山崎中尉ハ余不在間支隊長代理ヲスベシ又 海軍森中尉ハ戦斗ニ関シ直轄部隊ヲ指揮 スベシ</p>	<p>筆口 記達</p>

二八一二二二九 予島警備 部隊指揮官部	RX方面防備 部隊指揮官	二八一二二二九 予島警備 部隊	RX方面 防備部隊	機密予島警備部隊命令第一號 本職十一月二十九日零時以後在予イセル 陸海軍部隊ヲ指揮ス	機密RX方面防備部隊命令作第九十七號 一 QDH 警備部隊指揮官ハ在予イセル部隊中 第七防空隊ヲブイニ転進 佐六特派遺隊ハ 予小隊ヲ原隊ニ復歸セルヲ吳七特ブイニ殘留隊ヨ リ一予小隊約(五名)ヲ予イセルニ進出セルハ 二予三防空隊長ハ在ブイニ殘留隊ヨリ二予小隊約 (六名)ヲ予イセルニ進出セルハ 三予七防空隊長ハ在兵器(彈藥共)ヲ予三防 空隊ニ保輕スベシ 二予五輕聯裝機銃 三基 在 QDH 輕機銃 三挺 在 QDH 重擲彈筒 三筒 在 QDH 四佐六特司令ハ在兵器(彈藥共)ヲ吳七特保輕 スベシ 重機銃 一挺 在 RXP 輕機銃 三挺 在 QDH 重擲彈筒 二筒 在 QDH	文書	文書
---------------------------	-----------------	-----------------------	--------------	--	--	----	----

八〇二二九 台島警備 部隊指揮官	八〇二二三 隊長	機密台島警備部隊命令第二號 第八十 七防空隊長 ヲ有イ ハル 出發後同隊 ヲ有イ ハル 殘留隊ヲ 指揮	文 書
------------------------	-------------	--	--------

1253



四参考
 (一)子ヨイセル湾防備要図

(三) 戰訓

特記事項ナシ

五 船體、兵器、燃関等

(一) 兵器

(二) 使用兵器ノ故障、缺損、失

ナシ

(四) 主要兵器ノ消耗及補給

兵器	名	消耗量	補給量	量記
九三式機銃	普通突包	一五二		対空戰鬥射撃ニ於テ
〃	突跟突包	七二		石
				月

六 會計經理

特記事項ナシ

七 醫務衛生

(一) (十) 記載事項ナシ

人員、現狀
以現員官氏名

區分	職	主務	官	氏名	記	事
本部	隊長		中尉	森		十月八日自セル進出
本部	副隊長		兵曹長	中山		
射擊隊	副隊長	第一小隊長	兵曹長	村		
射擊隊	副隊長	第二小隊長	兵曹長	原		十月九日自セル進出
射擊隊	副隊長	第三小隊長	兵曹長	田		
射擊隊	副隊長	見張小隊長	兵曹長	村		十月九日自セル進出
射擊隊	副隊長		兵曹長	義		
射擊隊	副隊長		兵曹長	增		
射擊隊	副隊長		兵曹長	月		
射擊隊	副隊長		兵曹長	雄		
射擊隊	副隊長		兵曹長	寶		
射擊隊	副隊長		兵曹長	太		

隊長以下計五名(見張小隊長缺員)

(二) 下士官兵及其他員數

區分	兵	科	機関	科	生	科	主計	科	其他	合計
隊附隊	一	九					一	〇		三
指揮小隊	一	九					一	〇		三
見張小隊	一	四								一
第一小隊	四	三								五
第二小隊	四	三								五
第三小隊	三	六								四
計	一七	三三	二	三	五		一	〇		二一

三令達報告書

発元	日時	令達報告書	種別
一振司	R×方面防備部隊 グイン各隊	R×方面防備部隊信令作第54號 グイン各隊に依り000ヨリ0四。迄第3電 警戒配備トナセ	電話
一振司	R×方面防備部隊	R×方面防備部隊信令作第55號 二駆逐艦四隻、島北西約八〇〇。進路概不 明三日以後000ヨリ0四。迄第2警戒配備 トナセ	電話
R×方面防備部隊指揮官	第20防空隊	R×方面防備部隊命令特第59號 第20防空隊長ハ左兵器ヲ第17防空隊ニ 保轉スベシ 二五枚機銃二其ニ 三枚機銃 二筒計属兵器共	文書

1257

一八二一三六	根司	地区右部隊	RX方面防備部隊信令作第六十六號 アイントロレ 地区ニ限リ〇〇〇〇ヨリ〇四〇〇迄 第三警戒配備トナセ	電話
一八二一三四	根司	右部隊	RX方面防備部隊信令作第六十號 本〇八〇敵入型輸送船ノ隻 駆潜艇一隻 シボ島南西北上セリ アイントロレ 地区ハ〇〇〇ヨリ〇四〇〇迄第二警戒配備 トナセ	電話
一八二一三二	根司令官	右部隊	RX方面防備部隊信令作第六十一號 右同 第六十號ニ依ル 配備ヲ撤 〇〇〇ヨリ 〇四〇〇迄第三警戒配備 トナセ	電話
一八二一三三	根司令官	地区各部隊	RX方面防備部隊信令作第六十二號 通信情報ニ依ル 敵有力部隊作動セルハ 如シ 二十三日以後 〇〇〇ヨリ 〇四〇〇迄第二警戒配備 トナセ	電話
一八二一三七	根司令官	地区各部隊	RX方面防備部隊信令作第六十三號 アイントロレ 地区ハ〇〇〇ヨリ〇四〇〇迄 第三警戒配備トナセ	電話

四 参考

(一) 戦訓

特記事項ナシ

(二) 寫真

特ニナシ

五 船體、兵器、機関等

(一) 兵器

(1) 使用兵器、故障、損傷、失

(2) 砲術科

兵器	名	情	状況	原因	処置
九六五五銃	銃	一	故障	現地ニ於テ修理中	
四環型照準器	基	一	折損	七	失
俯仰装置	一	右	同	同	同
旋回装置	一	右	同	同	同
閃光一級銃	三	七	失	同	同
機銃時鐘補助品	六	右	同	同	同
銃架時鐘補助品	六	右	同	同	同

七倍稜鏡双眼鏡一七
 三通信科 ナシ
 四運用料 ナシ
 五裁関科 ナシ

品名	情	状況	原因	置
九六式五稜鏡機銃照望鏡	右	夫敵機被爆ニ依リ	同	同
九六式小銃用補用品共凡	右	同	同	同
銃	右	同	同	同
劍	右	同	同	同
劍	右	同	同	同
油	右	同	同	同
壺	右	同	同	同
差	右	同	同	同
朝	右	同	同	同
革	右	同	同	同
前播樂盒	右	同	同	同
後播樂盒	右	同	同	同
鐵兜	右	同	同	同
鐵兜	右	同	同	同

四、主要兵器、消耗及補給

兵器名	消耗量	補給量	記	事
九六六五銃機銃 通常彈藥包	三四、五七二		消耗量の詳 戦中消耗四九二	三防隊 三〇、八〇〇 六、四〇〇
大限通常彈藥包	一二、〇〇四		消耗量の詳 戦中消耗一六四	三防隊 一、〇〇〇 六、〇〇〇
着、發、信、管	四六、五七六		消耗量の詳 戦中消耗六五六	三防隊 四、〇〇〇 二、〇〇〇

六會計經理

(1) 摘要

一 特ニ記載事項ナシ

二 経費出納現況

三 経費

特ニ記載事項ナシ

(二) 被服

昭和十八年十二月二十二日亡失物品左ノ通り

下ニ官兵褐青色夏衣

夏袴

襦袢

褐青色戦帽

戦病死分

昭和十八年十二月二十八日之失物品左ノ通り

下士官兵襦袢青色夏衣

夏袴

襦袢

褐色脚絆

陸軍隊用編上靴

護底紺足袋

三三三
二二二
三四四
二五五

チヨセル派遣隊分

(三) 需品 特ニチシ

(四) 糧食

生糧品
貯糧品

生野菜

一三三〇〇〇〇

八高ア支部ヨリ受

精涼飲料

一八二五〇〇〇

清涼飲料

三三六〇〇〇

乳酸飲料

一五六〇〇〇

玄詰果物

六一二〇〇〇

糖菓

一八〇〇〇〇〇

乾燥野菜

六〇〇〇〇〇〇

塩燻酒

八〇〇〇〇〇〇

火酒

六〇〇〇〇〇〇

ブド

三八五〇〇

(五) 戦時給方ニ依ル交付ハ二六名ニ対シ現金ヲ交付

七、醫務衛生

第二出征中、事項

(一) 醫務科員、異動
 (二) 天候、視察並ニ氣象、衛生的影響

前月三同

氣温 最高 三三・〇度 最低 二七・〇度 平均 三〇・〇度
 湿度 最高 一〇〇・〇度 最低 七五・〇度 平均 八七・五度

(三) 出征中ニ於ケル治療品被服糧食飲料其他關係アル物品ニ關スル事項並ニ塔載補給、概見
 (四) 治療品

受込月日		品名		数量		補給先	
一	一	一	一	一	一	一	一
二	二	二	二	二	二	二	二
三	三	三	三	三	三	三	三
四	四	四	四	四	四	四	四
五	五	五	五	五	五	五	五
六	六	六	六	六	六	六	六
七	七	七	七	七	七	七	七
八	八	八	八	八	八	八	八
九	九	九	九	九	九	九	九
十	十	十	十	十	十	十	十
十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一
十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二
十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三
十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四
十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五
十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六	十六
十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七	十七
十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八	十八
十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九
二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十
二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一	二十一
二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二	二十二
二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三	二十三
二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四	二十四
二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五
二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六	二十六
二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七	二十七
二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八	二十八
二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九	二十九
三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十

(八) 飲料水雜用水補給、前月二回

(五) ナレ

(六) 出社中、衛生狀況

(七) 受療患者の状況

延数	三、七、五	百三十八	八五、三、三	一九	、	一、六、三	、	、	九	四	九、六	一、三	二	一、五	、
現員	受療患者	延数	計	外傷	結核	性病	伝病	その他	計	死	病	傷	送		

(四) 傳染病流行多、發傷病の状況

特記事項ナレ

特記事項ナレ

(九) (八) (七)

(十) 醫務衛生ニ関スル令達報告ノ大要

令達ノ部

待受月日	件	名	待受先
一、二、一、一、七	RX方面醫務處理要領ニ関スル件	通知	第八艦隊軍醫長
一、二、一、二、四	ガラリアノ刑座ニ関スル件	申進	甘利清太郎

報告部

提出月日	件	右	提出先
一二月一日	公務罹病者名簿		海軍人事部長
	治療品領收書		第一機隊隊長
	十二月令治療品受入高報告		第八海軍病院長
	戦死證明書作製資料		第一機隊隊長
	戦死傷者表		同

第三 戦闘三関の事項

一前月二同

二戦斗、概況並ニ傷病者榮主、概要

(1) 戦斗、概況

昭和十八年十二月五日ソロモン群島チヨイセル島チヨイセル港ニ於テ
 對空戦斗ニ從事中チ前八時三十分敵駆逐艦ニ隻輸送船一隻
 ヨリ艦砲射撃レ來リ又敵機ノイスアノカニ機來襲我陣地ヲ航爆
 撃セリ投彈數五個
 昭和十八年十二月十一日ソロモン群島ホーゲンビル島ブインニ於テ對空
 戦斗ニ從事中チ前十一時四十分敵機艦爆約七十機來襲我陣地
 ニ急降下爆撃ニ來リ投彈數約四十個ナリ六番機銃ニ直撃彈ヲ受ケ

二十五枚機銃一臺被害ノ蒙ル

(二) 傷者發生ノ概況

別紙一戰死傷者表ニ通り

(三) 傷病者治療並ニ治療品ニ関スル事項

治療品ノ補給ニ足ラズ特ニキニチン劑注射液、エノチン劑注射液、
 吸着性酸製劑不足ニ下痢患者、マラリア患者、快復ハ長引ク傾ク向
 アリト思考ス。又消化劑不足ニ依リマラリア患者四日腸ヲ害スル者多ク
 以上ノ治療品不足ナキ様補給サレ度シ

(四) 傷病者後送ノ概要

後送月日	傷病	名	等級	氏名	名	後送先	記	事
一一一四	左大腿下段傷同大股骨連	上水	川崎	久夫	第八海軍病院	第一振病舎ヨリ		
一一一九	左肘関節打撲同右腕関節打撲	一水	伊藤	保之	右	同右		同

(五) 戦死傷者表 (別紙一、通り)

(六) 戦士人員表 (別紙二、通り)

第四醫務衛生上持ニ經驗ニ事項意見並ニ戰訓ニ関スル事項

特記事項ナシ

別紙

自昭和十八年十二月十一日 戦死傷者表 四等二十防空隊

氏名	官職	戦死傷者	行方不明	即死	重傷	軽傷	微傷	送院
一水 松田克臣	水長	内蔵破裂		○				
一水 西村正雄	水長	脳脈 湯		○				
一水 江島岑一	水長	頭部挫傷		○				
二曹 塚本 章	二曹	胸部打撲傷		○				
二曹 菅原又三郎	二曹	頭蓋粉砕		○				
一水 伊藤保之	一水	左頬部挫傷 右頬部挫傷 左腕部挫傷 右腕部挫傷 左膝部挫傷 右膝部挫傷			○	○		
一水 藤原合夫	一水	全身擦傷		○				
二曹 星川 二一	二曹	顔面挫傷 左腕部挫傷 右腕部挫傷		○				
三曹 谷口義春	三曹	頭部挫傷 左腕部挫傷 右腕部挫傷		○				
一曹 岡田善一	一曹	全身擦傷		○				

一三五	右半身	一曹菊池	右半身	○
二	右半身	一水舟屋	右半身	○
三	右半身	一水水谷正男	右半身	○
四	右半身	二曹宮本柳作	右半身	○
五	右半身	二曹赤松榮治	右半身	○
六	右半身	二曹阿部菊三郎	右半身	○
七	右半身	水長山田武	右半身	○
八	右半身	上水浅井全一	右半身	○
九	右半身	上水今川全二	右半身	○
一〇	右半身	一水美濃谷英雄	右半身	○
一一	右半身	一水渡會一男	右半身	○
一二	右半身	一水柿芝優	右半身	○
一三	右半身	一水山口義美	右半身	○
一四	右半身	一水長田輝雄	右半身	○
一五	右半身	一曹岩崎貞胸	右半身	○

別紙二

戦斗人員表

科別	士官	候補生	特務士官	下士官	兵	軍属	計
科別							
兵科	二			四	四〇		八六
飛行科							
整備科							
機関科				五	七		一二
工作科							
軍樂科							
醫務科				一	二		三
主計科				二	五		七
總計	二			五二	五四		一〇八

1270

昭和十八年十二月五日 千ヨイセル島ニ於ケル
 戦斗人員表

科別	士官	候補生	持務士官	下士官	兵	軍属	計
科別							
士官			三				
候補生							
持務士官							
下士官				二六			
兵					五七		
軍属							
計							八六
總計			三	二九	七一		一〇三
主計科				一	二		三
醫務科					二		二
軍樂科							
工作科							
機庫科				二	一〇		一二
整備科							
飛行科							
兵科							

續調査部長殿

軍極秘

一機密第一三〇號(一〇、一)

一月二十五日提出



昭和十九年一月一日

第一根據地隊(旧二十防空隊)

戦闘詳報(第四號)

自昭和十八年十二月一日
至昭和十八年十二月三十日 對空戦闘

第一根據地隊(旧第二十防空隊)



1272

（目次）

一	計	畫
二	經	過
三	令	達
四	戰	果
五	我	が
六	功	績
七	參	考
一	戰	訓
二	寫	真
三	天	氣
		圖

（目次終）

自昭和十八年十二月一日
至昭和十八年十二月三十日
戦闘詳報 第三十防空隊

一 計畫

一 任務企圖

二十五耗稼裝機銃四基ヲ以テ
十一月三十日ノ戦闘中互近彈ノ為
ノ陣地ノ移動ヲ余儀ク
サレ陣地ヨリ二百米東北
方ニ転地依前トシテ對空
戦闘ニ備ヘ敵機ノ攻取手
ニ當リ味方陣地ト協力
之レガ撃攘ニ邁セントス

二十月八日セシ號作戦ニ依リ
隊長以下四名先發隊トシテ
テヨイセルニ進出セル後
又ニ二十九日小隊長以下
六名後發隊シテ第十七防
空隊ヨリ在テヨイセル隊
ニ保転ケタル二十五耗稼
裝機銃三基ニ對シテ
グアイニ海岸砲台ノ二基
ヲ在グアイニ十七防ニ依
命保転セリ爾後依命
グアイニ山南側中腹ニ
陣地移動基ハ極力修理
ニ努力中ナリ

二 經過
一 自隊及友軍の戦闘經過

時天月 刻候日	自隊の戦闘經過	友軍の戦闘經過ノ概要
<p>十二 十一 晴</p>	<p>一一三七空襲警報ト同時ニ陣地ニ待機中敵艦爆約七十餘機ハブイニ山西北方ヨリ旋回椰子林ト海岸線ノ中角度ヨリ巨艦約一〇〇未ヨリ急降下銃爆撃ヲ開始ニ四五我陣地ヨリ間髪ヲ入レズ猛ニ反撃ヲ加ヘタルヲ敵ノ全機ハ我陣地集中カレ至近彈數十發投彈セラレタルヲ陣地周邊ニ濺々タル砂塵並ニ椰子樹ノ倒潰物凄ク極メテ困難ナル視界ノモトニ冷靜沈着猛ニ反撃ヲ加ヘタルモ内約六機ハ急降下角度ヲ更変シ猛烈ニ突入シ</p>	<p>上記戰鬥中ニブイニ味方陣地ヨリ猛烈ナル砲撃ヲ浴ビタリ尚爆彈モ山腹ニ散發後下セルモノ、如シ</p>
一一三	一一七	一一五〇

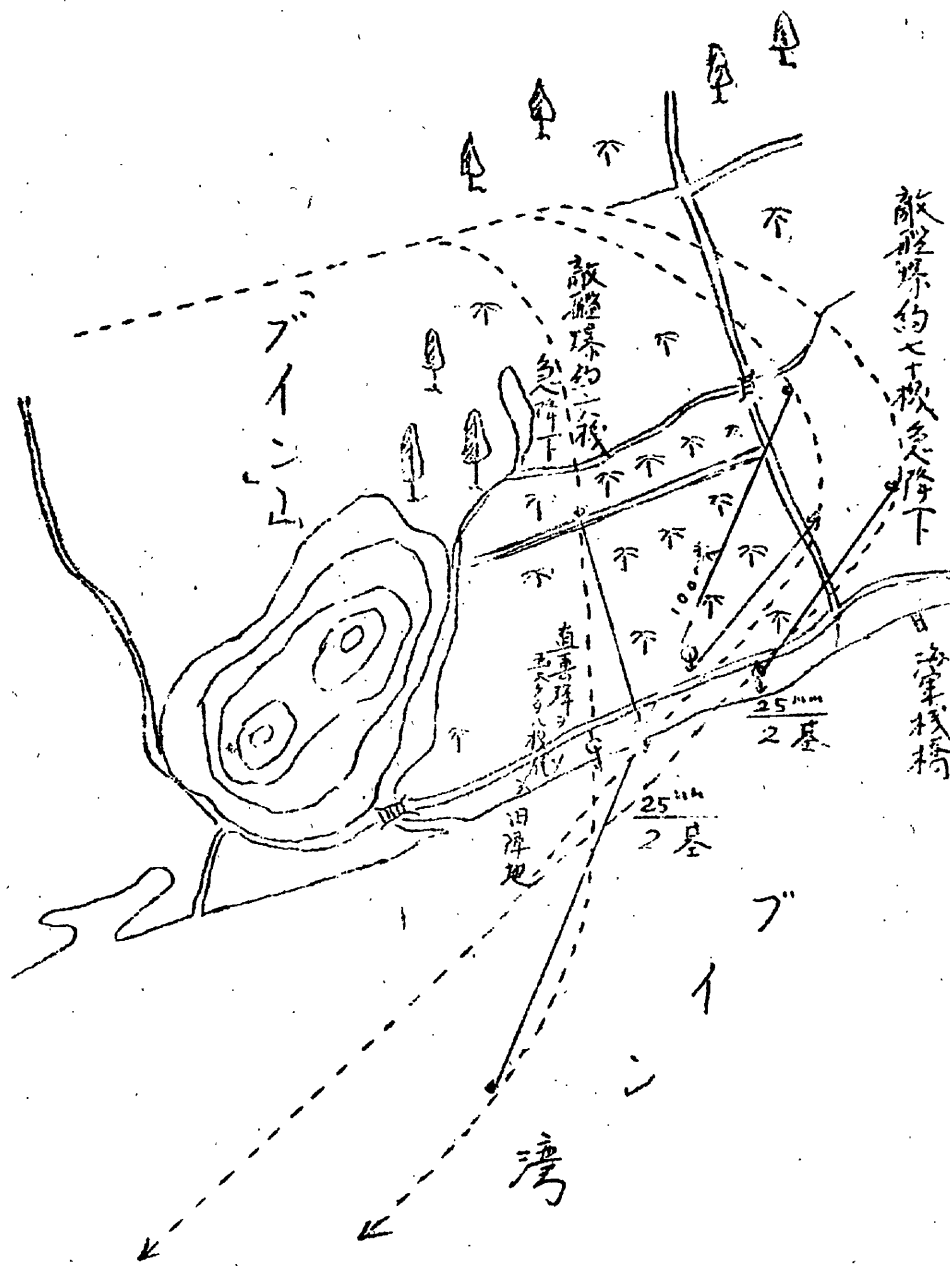
來リ二十五機、敵機銃一基、直撃彈受テ、
 我方此間敵機ニ對シ有効ナル猛反撃ヲ加ヘ、此
 レヲ撃退セリ
 右戰鬥中敵機撃墜二機（内一ノ戰果ヲ揚
 ケタルモ我亦二十五機、敵機銃一基、海岸水際
 ニ放出、銃員戰死四名、戰傷二名、其他
 兵器若干被害ヲ受ク
 被害機銃一基ハ設營隊工作班ノ應援ニ
 復旧工事ニ從事、修理可能ノ見込ニ
 發射彈數 六五六發

二 作戰ニ影響有ル事項

及軍航空機比自無ク為メ敵機ノ行動有利ナク味方陣地
 其ノ他ニ受ケル被害極メテ多シ

三 行動圖及合戰圖

十二月十一日 合戰圖 一―三七五五 一―五。解除 晴
 敵機撃墜機數 艦爆二機（内一） 發射彈數 六五六



1277

三. 令達報告及通報

日時	元時	日時	受通報	令達報告等	種別
二一六	RX方面防備部隊指揮官	第一防隊長	機密RX方面防備部隊命令第九九號 第二十防空隊長ハ左ノ兵器ヲ第十七防空隊ニ 保転スベシ 二十五挺聯裝機銃ニ基輕機銃ニ重擲ニ(附屬品)	文書	
二一七	RX方面防備部隊信伝令作第五五號	第一防隊長	機密RX方面防備部隊信伝令作第五五號 「トノレイ」ノ見張ノ報告ニ依レバ戰艦(空母)ラ シキモノニ駆逐艦四モノ島北西約八〇〇 進路概不西 二明三日以後。〇。〇。ヨリ。四。〇。〇。近第一警口 戒配備トナセ	電話	
二一八	RX方面防備部隊信伝令作第五四號	第一防隊長	機密RX方面防備部隊信伝令作第五四號 「トノレイ」ノ見張ノ報告ニ依レバ戰艦(空母)ラ シキモノニ駆逐艦四モノ島北西約八〇〇 進路概不西 二明三日以後。〇。〇。ヨリ。四。〇。〇。近第一警口 戒配備トナセ	電話	

1278

一 根 司	一 根 司	一 根 司	一 根 司	一 根 司
二 一 一 七	二 一 一 三 。六 三。	二 一 一 五 。九 五。	二 一 一 四	二 一 一 六
地 区 各 隊	地 区 防 備 隊	地 区 各 隊	地 区 各 隊	地 区 各 隊
RX 方 面 防 備 部 隊 信 伝 令 作 第 六 三 號 近 第 三 警 戒 配 備 ト ナ セ	RX 方 面 防 備 部 隊 信 伝 令 作 第 六 一 號 通 信 情 報 三 依 六 敵 有 力 部 隊 作 動 セ レ モ ノ 如 シ ニ テ 三 日 以 後 。四 。四 。四 。近 第 三 警 戒 配 備 ト ナ セ	RX 方 面 防 備 部 隊 信 伝 令 作 第 六 。號 三 依 リ 配 備 ヲ 撤 シ 。四 。四 。四 。近 第 三 警 戒 配 備 ト ナ セ	RX 方 面 防 備 部 隊 信 伝 令 作 第 六 。號 本 日 。八 。敵 大 型 輸 送 船 九 隻 驅 逐 艦 八 隻 驅 逐 艇 一 隻 シ ン ボ 島 南 西 北 上 セ リ 近 第 三 警 戒 配 備 ト ナ セ	RX 方 面 防 備 部 隊 信 伝 令 作 第 五 六 號 近 第 三 警 戒 配 備 ト ナ セ
電 話	電 話	電 話	電 話	電 話

1279

四 戦果及被害

交戦中敵機種	数	撃墜数	確実数	不確実数	消耗弾	記
艦上爆撃機	七五	一			三十五機銃弾 六五六	

被 害

兵器名	数	処置	兵器名	数	処置
重機銃装機銃破壊一基	一	修理中	小銃八九式	九六	第八軍需部請求中

五 我カ兵力ノ現状

區別	士官以上	下士官兵	兵器	記
フイン地区	二	一二一	九九式重機銃 一 九九式小銃 二 九九式小銃 二 九九式小銃 二	一基ハ修理中
フヨイセル地区	三	八三	九九式重機銃 一 九九式小銃 三 九九式小銃 三 九九式小銃 三	重機銃 一 小銃 三

六、功績
(註) ラバウル 残員 三名 入院中 四名 總ニ一一

最近敵機ノ攻撃目標ハ、ラバウル後方其地方面ニ転換サレタリタルモノ、
如ク我がコソイニ地區來襲ハ小數ノ大型機或ハ水艇ニ依ル攻撃ヲ偵察不
ニ止マリタリ然レ共十一月十一日ノ艦爆來襲ハ前例ニ無キ攻撃振
リハ我ガ勇猛果敢ナル反撃ヲモ不拘ラズ勇敢ニ急降下銃爆撃ヲ敢
行シ來ル銃員一同克ク冷静沉着ニ極度落下勇戦奮闘ナシタル事
ハ武人ノ精進ニシテ其ノ功績極メテ賞賛ニ値ス

参考

特記事項 ナシ

自昭和十八年十一月一日對空戰鬥詳報 予二十防空隊方セル派遣隊
至昭和十八年十一月三十日

計畫
任務 企圖

外南洋部隊命令、予作將等三十三號ニ依リ十三批機銃八基ヲ以テ
隊長指揮ノ下ニ一部兵力(下士官兵四〇名)ヲ予ヨセル灣ニ進出
シ同地、防空確保ニ任ジ、防備要圖ニ示ス位置ニ陣地ヲ構築シ上空
並ニ海面ヨリ來襲スル敵機ニ備ヘ、又對空陣地東方五百米、地奥ニ
駐止乍候ヲ派遣シ且輕機陣地ヲ構築シ東方「カヤン」内ヨリ來攻
スル敵ニ備ヘ晝夜全力配備シ堅壁ノ布陣ヲ以テ當地確保ノ任
ヲ完ウセントス

二經過

(一)自隊及友軍ノ戰鬥經過

月	日	時刻	經過
十一月	一日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	三日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	五日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	七日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	九日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	十一日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	十三日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	十五日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	十七日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	十九日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	二十一日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	二十三日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	二十五日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	二十七日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	二十九日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ
十一月	三十日	一〇時	敵戰鬥機七機西方ヨリ低空ニテ來襲セル ヲ直ニ之ヲ砲撃々退セルハ 發射彈數三三四發 人員異狀ナシ

友軍戰鬥經過
ノ概

二作戦ニ影響セル事項
 持ニ記載事項ナシ
 三行動圖及合戦圖

十月十日
 合



予ヨイセル事

三 令達報告及通報

將記事項ナレ

四 戦果及被害

戦果不明 被害ナレ

五 我兵力、現狀

六 功績

將ニ記載事項ナレ

七 参考

1284